

# オオヒキガエル識別マニュアル

移入種オオヒキガエルは1978年頃に石垣島に持ち込まれ、今では島全体に広がりました。最近、西表島で発見され、繁殖することが心配されています。もし西表島でオオヒキガエルを見つけたら、西表野生生物保護センターに連絡してください。

TEL 09808-5-5581



毒液を出す  
オオヒキガエル(オス)

体長8~16cm。目の後ろにあるコブ(耳腺)から白い毒液を出します。目の周りにゴツゴツした隆起(骨質隆起)があります。

オオヒキガエルにさわった場合には、手をよく洗いましょう。毒が目や口に入ると危険です。

## オオヒキガエルの成体と幼体



大きなものは手のひら位になります。幼体でも、目の後ろには耳腺があります。

## オオヒキガエルの雌雄



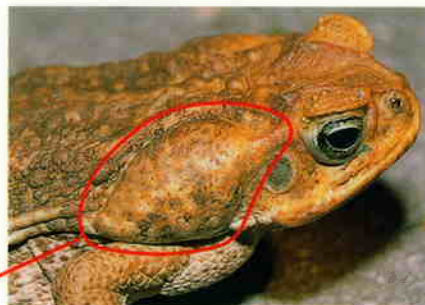
左がオス。オスは背中の模様がなく、のどと指が黒っぽくなります。

写真のオオヒキガエルは石垣島産

## ●オオヒキガエル見分けのポイント●

オオヒキガエルは耳腺が目立ち、背中には一面のイボがあります。それらしいカエルを見つけたら、目の後ろをよく見てください。

耳腺



オオヒキガエル 大きな耳腺がある



サキシマヌマガエル 耳腺はない

(西表島産)

# もともと八重山にくらすカエルたち



**サキシマヌマガエル**

(石垣島産)

体長4~7cm。八重山でもっともたくさん見られるカエル。特に水田や集落の近くに多く、オオヒキガエルとの見分けには注意が必要。



**ヤエヤマハラブチガエル**

(西表島産)

体長4~5cm。「コッコッコッ…」という、尻上がりの声で鳴き、オオヒキガエルの鳴き声と間違いやすいので注意が必要。



**オオハナサキガエル**

(石垣島産)

体長6~12cm。八重山でもっとも大きくスマートなカエル。



**コガタハナサキガエル**

(石垣島産)

体長4~6cm。山地の溪流だけにすむ珍しいカエル。



**リュウキュウカジカガエル**

(石垣島産)

体長3~4cm。小さいが足の長いカエル。八重山には多い。



**ヒメアマガエル**

(西表島産)

体長2~3cm。日本最小のカエルで、八重山には多い。



**ヤエヤマアオガエル**

(西表島産)

体長4~7cm。木の上にすみ、白い泡巣を作って産卵する。



**アイフィンガーガエル**

(西表島産)

体長3~4cm。木の上すみ、「ピッ、ピッ、…」と鳴く。



(西表島産)

**サキシマヌマガエル**

背中にははっきりした線を持つものもいる。線がもっと細いものもいる。

## 西表島に侵入のおそれのあるカエル



**ウシガエル**

(埼玉県産)

体長11~18cm。食用のためにあちこちに放された。沖縄島や石垣島には定着している。



**シロアゴガエル**

(カリマンタン島産)

体長4~8cm。木の上すみ、背中の縦すじが特徴。沖縄島や宮古島には定着している。